

# 大桑 第88号 まさたか 3月号



さかえく せかい か  
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

市議員2期目

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

よろしく願います！

## 市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

## 局名の一部変更！

平成22年4月1日から、横浜市の局(組織)の名称が変わります。

中田前市長時代に職員数の削減などをするために、組織を再編・統合すると同時に、横浜市の局名を変更しました。ただ、局名を変更するとき、再編・統合した組織の全体像を表そうとしたため、局名が長くなってしまいました。その結果、市民の皆さんから「分かりづらい」という指摘を受けることが多くありました。

そこで横浜市は、市長が林市長に代わったこともあり、今回、横浜市の中の4局において局名を変えることになりました。変更になる局名は次の通りです。

行政運営調整局	→	総務局
市民活力推進局	→	市民局
まちづくり調整局	→	建築局
安全管理局	→	消防局

今回の名称変更で、市民の皆さんにとって分かりやすい局名になればと思っています。また、上の4局は、名称は変わりますが業務内容に変更はありません。局名の変更直後は、多少の混乱があると思いますが、ご理解頂ければと思います。

## 大桑新聞

第88号(3月号)

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

<http://m-okuwane.net/>

E-mail : [m-okuwane@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwane@mvg.biglobe.ne.jp)

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(2人)、ママ(猫)、グリ(犬)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

## 1月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成21年度1月現在の政務調査費累計残高は一4,853円です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	1,940円	会議費	0円
調査研究費	12,920円	事務費	17,613円
資料費	7,170円	事務所費	130,469円
広報・広聴費	370,553円	その他	0円
人件費	40,420円		

1月の支出合計は

576,460円です。

### 近況報告

平成22年第1回市会定例会が平成22年2月16日(火)から始まっています。私は今議会において、横浜市の財政などについて質問をしました。この模様は録画されていますので、横浜市や私のホームページからご覧下さい。

次に、平成22年3月1日(月)からは、平成22年度予算についての特別委員会が始まります。私は、この予算特別委員会においても質問をする予定でいます。どのような質問をしたかについては、来月以降の大桑新聞でお知らせします。

最後になりますが、平成22年度の栄区の主な事業についても、来月以降の大桑新聞でお知らせしますので、よろしくお祈いします。

### 敬老特別乗車証(敬老パス)

大桑新聞87号(先月号)でご報告した敬老パスについてですが、様々な意見を頂きました。ありがとうございました。

さて、今回の制度見直しですが、敬老パスという制度をこれからも継続するための制度見直しです。横浜市の基本的な方向性は制度廃止ではなく、**制度存続**です。

ただし、今後も敬老パスという制度を存続させるためには、敬老パスを使っている皆さんからの負担を増やす必要が出てきます。70歳以上の方が増え、敬老パスを使う方が増える以上、個人負担を増やさなければ、横浜市の負担が増え、横浜市の財政が厳しくなり、横浜市は借金を増やさなければいけなくなります。

敬老パスという事業は、「外出を促すことによって健康を増進させ、結果的に医療費を削減できれば」という考えなどから続いています。このような考え方からすれば敬老パスは個人負担がない方が良いと思います。しかし、高齢者が増え、介護費や医療費が増加する以上、敬老パスも含め、様々な事業を見直していかなければ、借金の増加で横浜市の財政が破綻する可能性さえ出てきます。

敬老パス(敬老特別乗車証)の制度見直しについては、今後も大桑新聞でご報告していきます。皆様へのご報告は今回で終わりではありません。よろしくお祈いします。

### 羽田空港の再国際化

平成22年10月頃、羽田空港が再国際化します。羽田空港の再国際化にともない、羽田空港と世界の主要都市が国際定期便で結ばれることとなります。当初、国は近距離(ソウルや上海など)への就航しか認めていませんでした。しかし、横浜市などの働きかけもありアメリカ・イギリス・フランスなど遠距離への就航も可能となりました(深夜・早朝便)。横浜市としては、この羽田空港の国際化を利便性の向上や経済活性化の大きなチャンスと捉え、今後も国際便が増えるよう国に働きかけます。

### G30について

G30とは、「平成22年度のゴミの量を平成13年度のゴミの量と比べ30%削減しよう」というものです。この目標に対し、これまでも大桑新聞でお知らせしてきましたが、皆様のご協力により横浜市全体で、平成17年度には平成13年度に比べ33.9%ものゴミを削減することができました。

平成21年度の結果はこれからになります。平成18年度は平成13年度に比べ35.9%、平成19年度は38.7%、平成20年度は41.0%ものゴミの削減に成功しています。これからもご協力をお願いします。